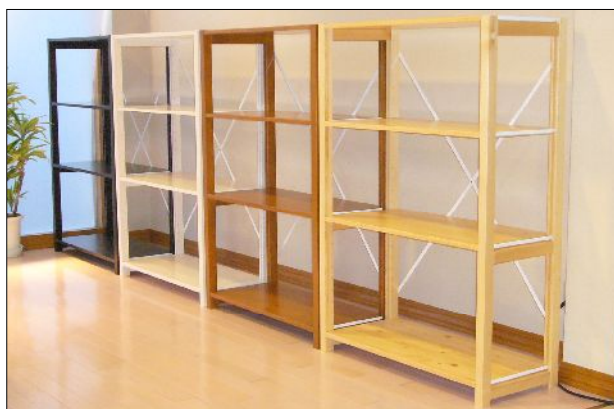
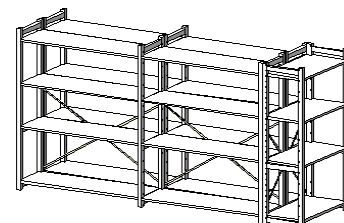
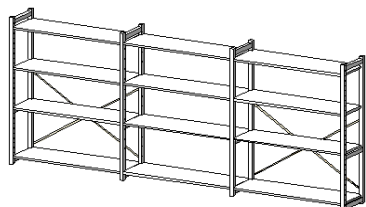
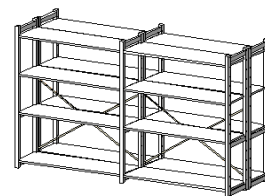
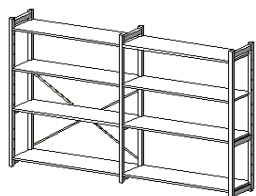
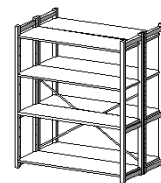
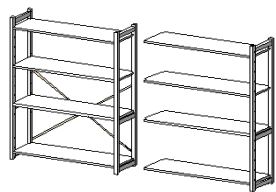
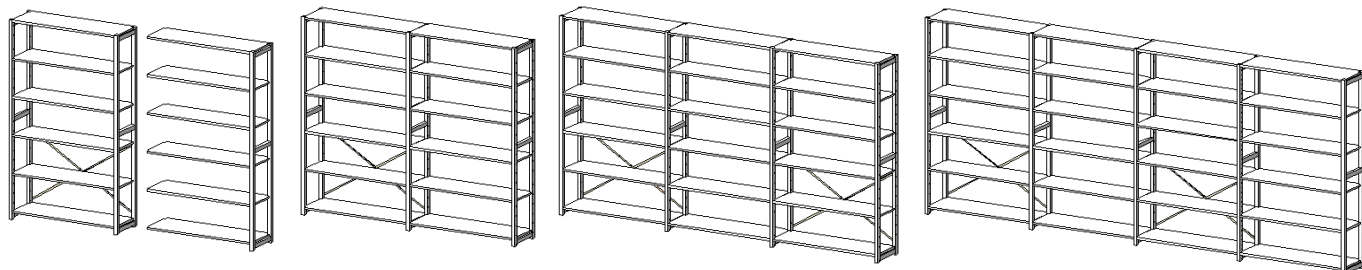


ヴァス ラック

店舗什器

Vas Rack

施工説明書

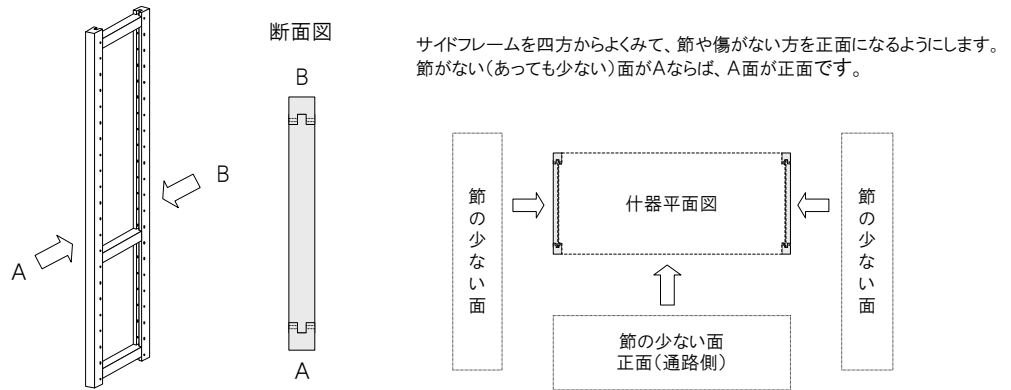


Vas Rack (ヴァス ラック) 組立方法

I. 組立前の確認作業

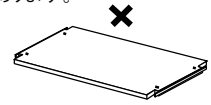
●サイドフレーム正面の確認

下図のA・Bいずれかの面は、節がない(あっても少ない)仕様です。**節がない(あっても少ない)面が正面**になります。



●シェルフの表・裏の確認

裏側には、棚受金具をとめている跡(ステーブル、あるいはこれに類する留め跡)があります。

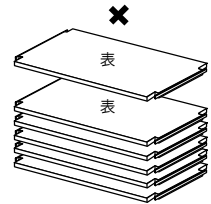
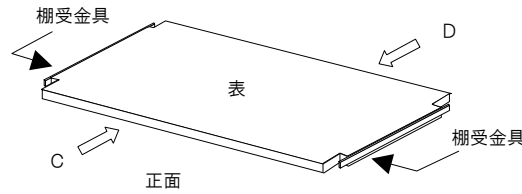


裏面を上にしてのご使用はおやめ下さい。

●シェルフの正面の確認

下図のC・Dいずれかの面は、節がない(あっても少ない)仕様です。**節がない(あっても少ない)面が正面**になります。

表側を上にして、小口面CとDをみて節がない(あっても少ない)面を正面にしてください。正面に傷があった場合は、反対側を正面にしてください。



保管する場合は、シェルフの表・表を合わせて積み重ねてください。

II. 組立方法

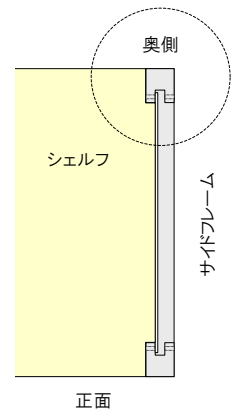
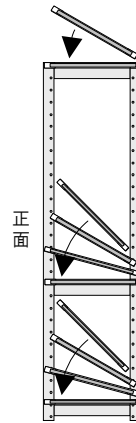
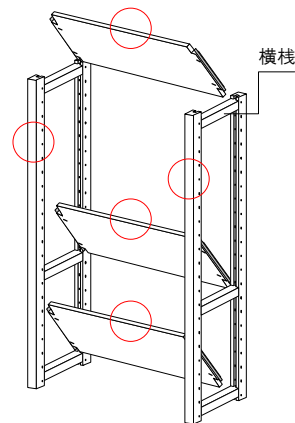
①仮組み

サイドフレーム・シェルフの正面を確認し、ユニットを仮組みします。

●サイドフレーム

(注)シェルフの仮置きをせずに、最初から所定の位置・数量で設置する場合は、後述の③シェルフの位置変えの項目を参照願います。

●仮置きシェルフ (棚受ピン付)



正面
節のない(あっても少ない)面

- シェルフをサイドフレーム内の空間に、思い切り斜めに入れてください。
- サイドフレーム横棧上の奥側溝に、シェルフの棚受金具をあてがい、水平に戻す要領で入れ込みます。
- 仮置きのシェルフは、サイドフレームの高さに関係なく、最低3枚、上・中・下の位置で設置願います。
- サイドフレームの横棧にシェルフを載せる場合、棚受ピンを使う必要はありません。

- 仮組みする際、サイドフレームをほぼ垂直に立ててから、シェルフを仮置きしてください。
- 別売の組立補助ジグ(オプションパーツ)が使用しますと、仮組みがしやすくなります。
- 仮組みしたユニットが斜めになったり、倒れたりすると、シェルフの両サイドに付いている棚受金具が外れることがあります。

Vas Rack (ヴァス ラック) 組立方法

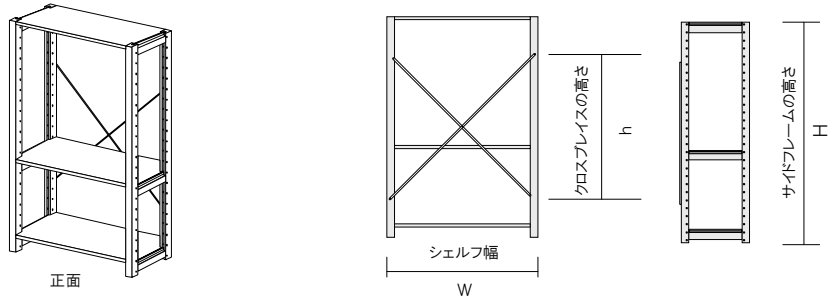
②クロスプレイスの取付

●クロスプレイスの長さ選定

クロスプレイスをクロスさせた時の高さ(h) < サイドフレームの高さ(H)で、クロスプレイスを選択します。

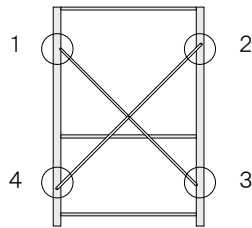
クロスプレイスをクロスさせた時の高さ h	シェルフ幅		W770	W800	W900	W970	W1000	W1200
	クロスプレイス							
h	CB-0089	89cm	≒45cm	≒39cm	—	—	—	—
	CB-0109	109cm	≒77cm	≒74cm	≒62cm	≒50cm	≒43cm	—
	CB-0143	143cm	≒121cm	≒119cm	≒111cm	≒105cm	≒102cm	≒78cm

※クロスプレイスの長さ(89cm・109cm・143cm)は閉じた状態での長さです。



●クロスプレイスの留付方法

①で仮組みした什器ユニットに剛性を持たせるため、正面反対側にクロスプレイスをビス留めします。



付属の皿ビスを使い、先を上側の1・2を留め付けてください。1・2の留付位置は、概ねサイドフレームの中心で高さが同じ位置です。

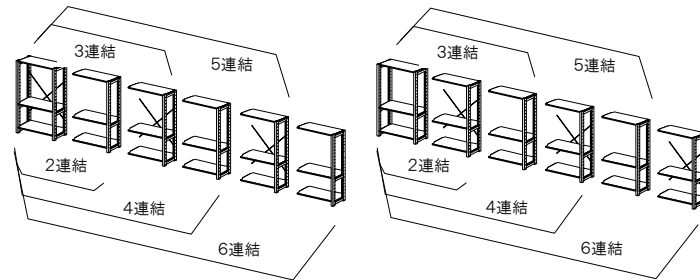
サイドフレームに水準器などを当てて、垂直になるような位置で下側の3・4を留め付けます。

(注)組立は、床面が水平な位置で行なって下さい。また、組み立てる際に床に養生用の板を敷く場合も、そのレベルが水平になるようにして下さい。

■ 連結什器の場合 ■

●クロスプレイスの必要本数

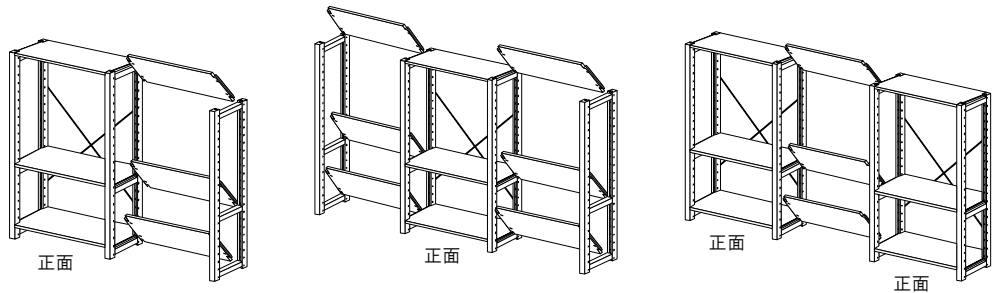
連結数によるクロスプレイスの配置については、下図の配置パターンが可能です。必要本数は右下表をご参照ください。



連結数	クロスプレイスの本数
1連結(単体)	1本
2連結	1本
3連結	1~2本
4連結	2本
5連結	2~3本
6連結	3本

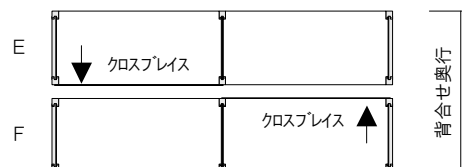
●クロスプレイス什器の配置

クロスプレイスを取り付けた什器は、一つ置きになるように配置してください。また、什器を連結させる場合は、あらかじめクロスプレイスを取り付けた(単体)什器を必要数作ってから、連結作業を開始してください。



(背中合せ什器の什器配置)

連結什器の背中合せの場合、EユニットとFユニットのクロスプレイス位置が互い違いになるよう、配置してください。



クロスプレイスが背中合せで同じ位置になると、背中合せ奥行が広がります。それにより、下記不具合が発生する場合があります。

- サイドフレームコネクター(固定金具)が留められない
- サイドネットが入らない

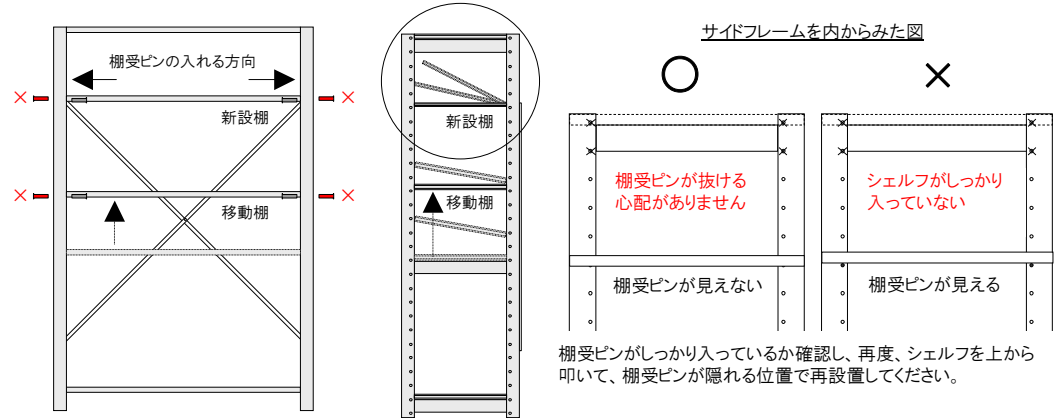
Vas Rack (ヴァス ラック) 組立方法

③シェルフの移動・新設

- 仮置きシェルフの移動
- シェルフの新設

①で仮置きしたシェルフを決められた位置に移動、又はシェルフの新設をします。

- シェルフを移動させる高さ・新設する高さに合わせて、サイドフレームの穴に棚受ピンを内側から差し込みます(シェルフ1枚あたり4本)。
- 仮置きしているシェルフはやや斜めにしながら平行移動させて、シェルフの棚受金具の後側を棚受ピンに載せ、水平に戻します。
- 新設のシェルフは、①シェルフの仮置きを要領で思い切り斜めにして、棚受金具の後側を棚受ピンに載せてから水平に戻します。



(注)棚受ピンを外から差し込むと、後から抜けることがあります。

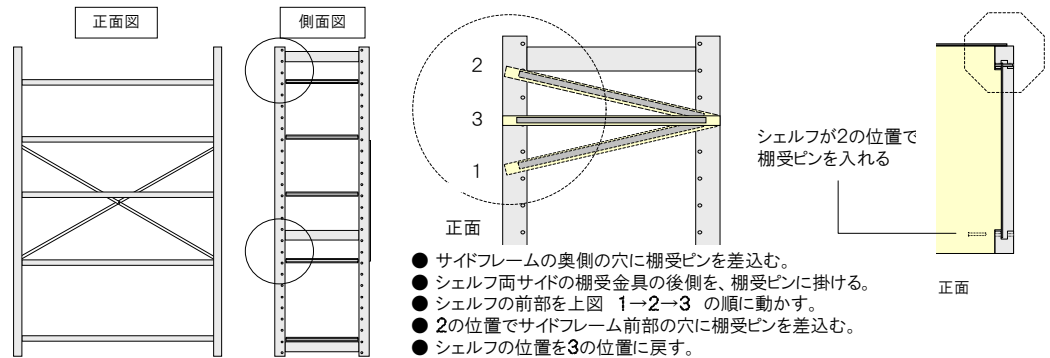
※サイドフレーム横棧の上下×印の穴には棚受ピンは入りません。

● 移動・新設時の注意点

シェルフは5cm間隔で設置できます。シェルフの設置間隔が広い場合は、棚受ピンを先に入れてもシェルフの位置変えや新設ができますが、状況によっては棚受ピンを先に入れてしまうと、シェルフの移動や設置がむずかしくなる場合があります。状況に応じて、下記方法にてシェルフの移動や新設を行ってください。

[棚受ピンの後入れ]

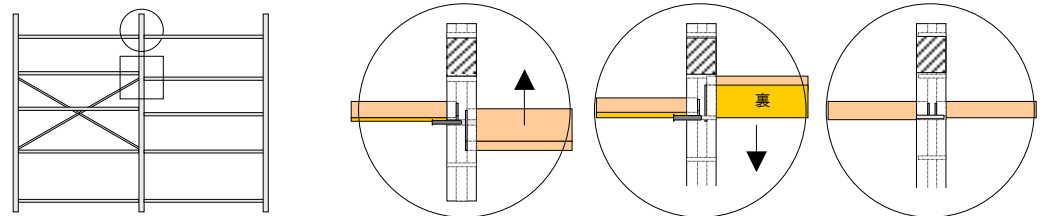
- サイドフレームの横棧の下側にシェルフを設置する場合
- シェルフの上下間隔が比較的に狭い場合



[棚受ピンの半入れ]

- 連結什器の左右ユニットのシェルフの高さを同じにする場合(サイドフレームの横棧の下側)
- 連結什器の左右ユニットのシェルフを10cm以内で段違いにする場合

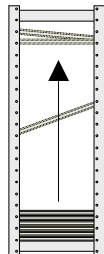
(注)連結什器の場合、連結部分のサイドフレームは共通となり、棚受ピンも共用となります。



- 棚受ピンの後入れで、片方のユニットシェルフを設置しますが、棚受ピンは半分だけ入れた状態にします。
- 移動又は新設するシェルフの棚受金具を奥側のピンに載せ、棚の前部を隣接するシェルフの高さ以上に上げ、残り半分の棚受ピンを差し込んだ後水平に戻します。

[シェルフの先入れ] [棚受ピンの後入れ]

- シェルフの上下間隔が極端に狭い場合
- ユニットに入れるシェルフの枚数が多く、シェルフ上下間隔があまりとれない場合



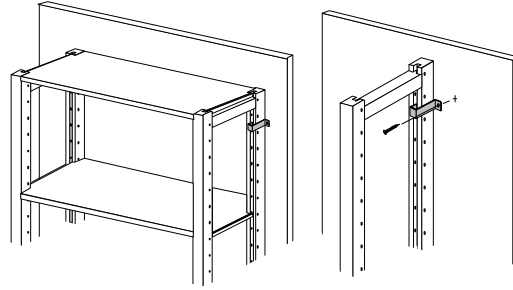
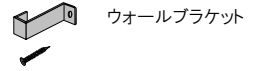
- 棚受ピンを入れずに、設置枚数すべてを先にサイドフレーム内に入れ込みます。
- サイドフレーム後側の穴に、棚受ピンを差し込みます。
- シェルフを多少斜めにしながら、そのまま平行移動します。
- 設置高さ付近になったら、シェルフの前部を棚受ピンを差し込む位置より少し高くしておき、棚受ピンを差し込んでから、シェルフを水平に戻します。

Vas Rack (ヴァス ラック) 組立方法

④ 什器の固定

● 壁面什器の固定

什器の転倒防止のため、下記方法で什器を固定してください。



サイドフレームの上部横棧の下側の溝にウォールブラケットを差込み壁に固定します。(サイドフレーム1本あたり、最低限1ヶ所)

その位置の壁の裏側に木下地かLGS下地を入れることをお奨めします。壁が石膏ボードで、ボード裏に下地が無い場合は石膏ボード用アンカー等で留め付けてください。

尚、サイドフレームの溝から直接ビス等で壁に固定する方法や、市販のL型アングル等で留め付けることもできます。現場にてご確認ください。

(壁面什器で、最下段にシェルフをつけない場合)



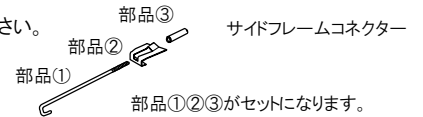
壁面什器で、衣類掛けのハンガーを取り付けた仕様かつ最下段にシェルフが付かない場合は、サイドフレームの下側に荷物等がぶつかるとサイドフレームが変形するおそれがあります。サイドフレームの変形防止のために、ウォールブラケットやその他の方法でサイドフレーム下側を固定することをお奨めします。

その際、サイドフレームの下側にシェルフを仮置きし、サイドフレームを固定した後シェルフを抜いてください。

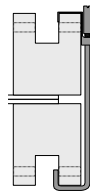
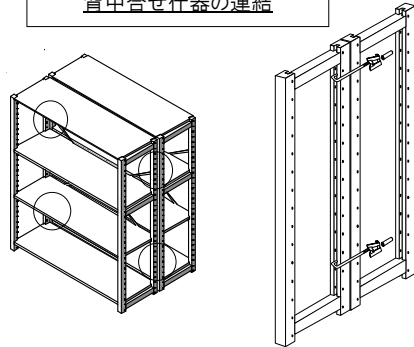
(注)シェルフを仮置きせず、サイドフレームを固定しますと、後からシェルフを入れる仕様に変更になった際、シェルフが入らないことがあります。

● 中央什器の固定

背中合せ什器の開き防止のため、下記方法で什器を固定連結してください。

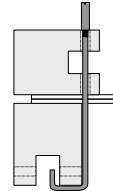
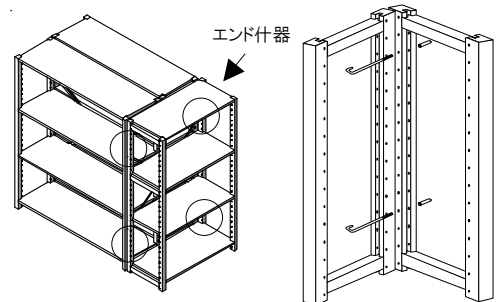


背中合せ什器の連結



※部品①②③すべて使います。
サイドフレームの溝に部品②を引掛けます。反対側のサイドフレームの溝に部品①を引掛けながら、部品②の穴に通します。部品①の端部に部品③をねじ込みます。

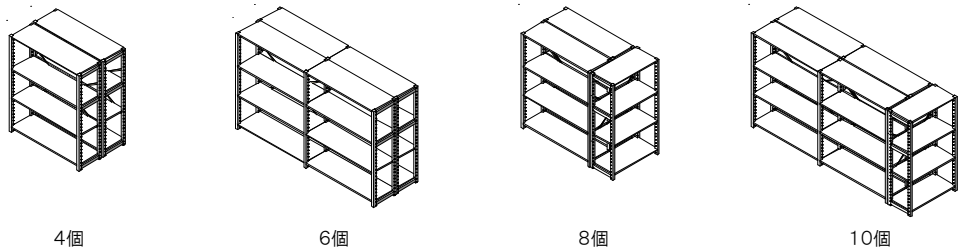
背中合せ什器+エンド什器の連結



※部品①③を使います。②は使いません
エンド什器のサイドフレーム奥側の溝に部品①を引掛けながら、隣接している背中合せ什器のサイドフレームの穴に部品①を通します。部品①の端部に部品③をねじ込みます。

(お願い) 部品③の食いつきが悪い場合は、部品③を反転させて取り付けてください。

サイドフレームコネクターの必要個数

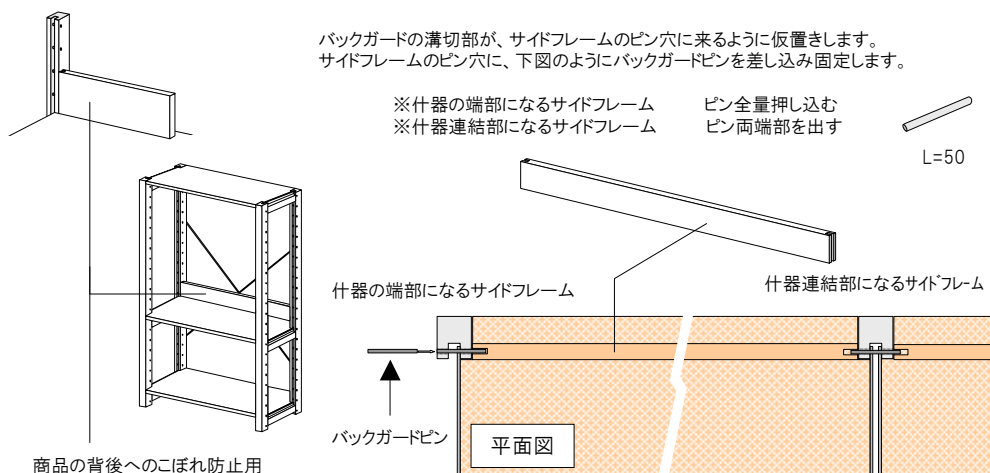


4個 6個 8個 10個

Vas Rack (ヴァス ラック) 組立方法

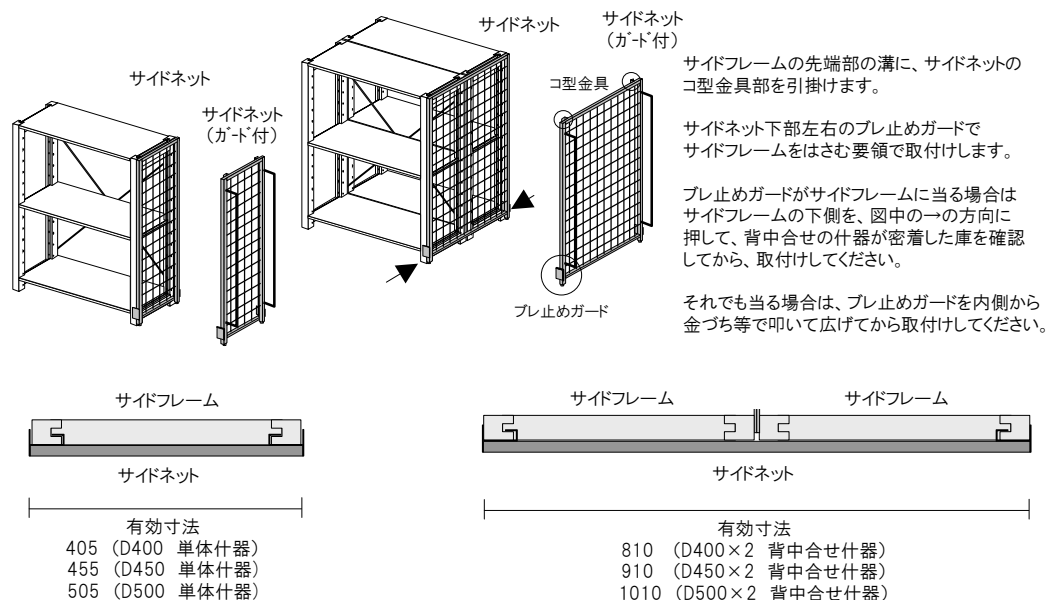
⑤オプションパーツの取付

●バックガード (バックガードピン付)



●サイドネット (色:白 アジャスター付)

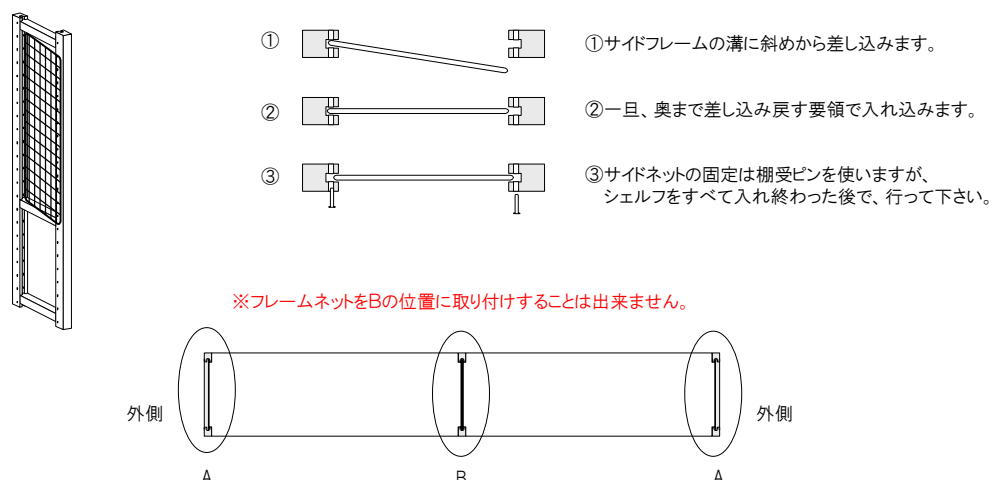
奥行き D400・D450・D500(mm) H 1080・1380(mm) 什器に対応できる商品です。



●サイドネットガード付きは、お客様がネット用フック等(商品をぶら下げるためにネットにつけたフック等)に側面からあたることを防止する効果を高めたパーツですが、店内での事故等につきましては、それを補償するものではありません。

●フレームネット (色:白) 棚受ピン付

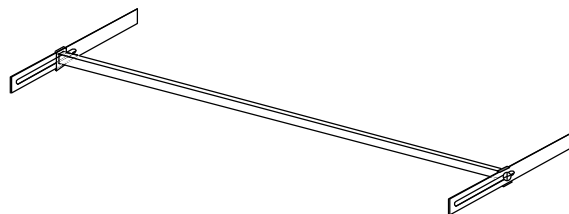
フレームネットは、サイドフレームの溝内に納まります。



Vas Rack (ヴァス ラック) 組立方法

●HGハンガー(棚受ピン付)

シェルフの場合と同様に、サイドフレームに棚受ピンを差し込み、その上にHGハンガーを載せる要領です。



- 角バー部分はスライドできます。
- 角バー用フック・フェイスアウト(FO)が取り付け出来ます。

●各種フック

サイドネット・フレームネット・バックネットに取付けます。
(ネット格子50×50mm対応品)

■ 角バーに取付けます。

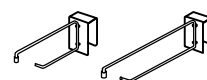
シングルネットフック



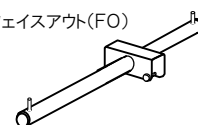
PLネットフック



角バー用PLフック



フェイスアウト(FO)



施工される皆様へ (お願い)

製品には、【 A品 】と【 基準内A品 】があります。

【 A品 】 特に問題がない商品です。

【 基準内A品 】 棚を構成する製品で機能には問題が無いが、軽微な傷などが表裏に付いている商品です。
軽微な傷とは、ぱっと見ただけでは気付かない程度の傷です。みてすぐわかるような傷は除外しています。

【 基準内A品 】が、場合によっては若干入ることもあります。もし、見受けられましたら

什器の背面側になるように棚の前後を入替える、壁面什器の最上段の位置にを替えてみる・・・などの方法で
対応お願い申し上げます。

【 Vas Rack 】は、限られた天然資源を捨てずに極力使うことで、地球環境にやさしい製品創りがコンセプトの商品です。

詳しくは、カタログ内に記載しております。ご理解・ご協力を賜りますよう併せてお願い申し上げます。



WAKE
山分物産株式会社

本社 〒600-8812
京都市下京区中堂寺北町18
TEL 075-312-1418
FAX 075-312-9090
<http://www.yamawake.co.jp>

2008. 5